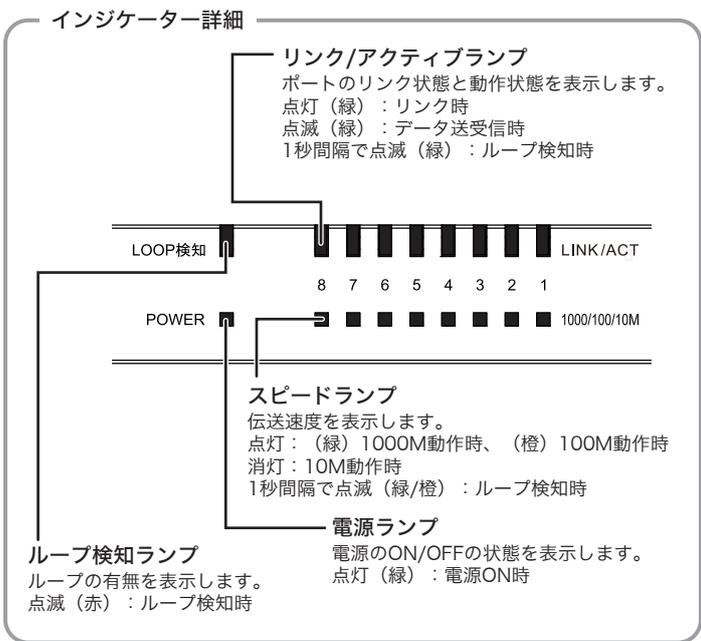
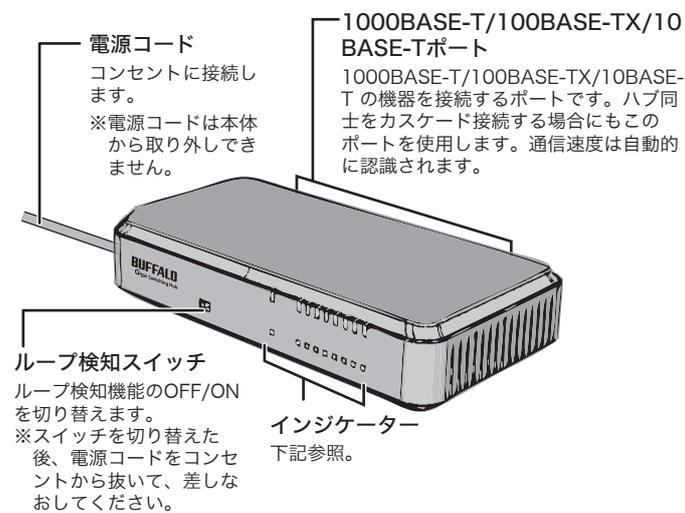
BUFFALO™

BS-G2108UR-TP
ハードウェアマニュアル

35010518 ver.01 1-01 C10-013

パッケージ内容

パッケージには、次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

□ スイッチングハブ（本体）……1台

□ ゴム足……1式(4個)
□ シリアルナンバーシール……1式(2枚)
□ マグネット(本体に装着済み)……2個
□ ハードウェアマニュアル(本紙)……1枚
□ 安全にお使いいただくために必ずお守りください(保証書付)....1枚

※保証書は、「安全にお使いいただくために必ずお守りください」に印刷されています。修理の際は、必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒にお送りください。
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

設置

■ 設置上の注意

・ぐらつく台の上や傾いた場所など、不安定な場所には設置しないでください。
・本製品の上に、本製品や発熱する物を載せないでください。
・ケーブル類は足などが引っかからないように配線してください。
・他の機器や壁などで、本製品の通風口をふさがないでください。
・電源ケーブルは必ず本製品に付属の物を使用してください。他の製品の電源ケーブルは仕様が異なるため、本製品の故障や火災の原因となるおそれがあります。

■ 床に設置する場合

床に設置する場合は、本製品底面の四隅に、付属のゴム足を貼り付けて設置してください。

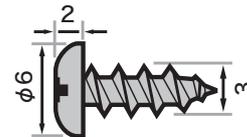
■ スチール製デスクの側面などに設置する場合

スチール製のデスクの側面など金属部分に設置する場合は、付属のゴム足を貼り付けて、本体添付のマグネットで設置してください。

注意

・付属のマグネットにはフロッピーディスクや磁気カードなどの磁気記憶媒体を近づけないでください。データが消失・破損することがあります。
・マグネット取り付け時には、付属のゴム足も貼り付けてください。

■ 壁に取り付ける場合

壁に取り付ける場合は、下図のようなネジを使います。壁にネジを固定して、本製品底面の壁掛け穴を引っ掛けてください。

ループ検知機能

本製品は、ネットワークに障害を及ぼすネットワークのループを検知し、ランプで通知する機能を搭載しています。

■ ループとは

LANケーブルの両端を同じハブに接続したり、ハブをループ（円環）状に接続したりすることで、ネットワーク内をデータが循環し続けることです。データが循環し続けると通信に障害を及ぼし、通信ができなくなる場合があります。

■ ループ検知機能の動作

ループ検知機能OFFの場合：ネットワークのループを検知しません。
ループ検知機能ONの場合：ネットワークのループを検知すると、1秒間隔でブザーが鳴ります。また、本製品前面のループ検知ランプ、リンク/アクティブランプ、スピードランプが点滅します。

■ ループ検知機能のOFF/ONの切り替え方法

1. 本製品前面のループ検知スイッチのOFF/ONを切り替えます。

2. 電源コードをコンセントから抜いて、差しなおします。
※電源のOFF/ONを行わないと設定が反映されません。

注意

・ループ検知機能がONの場合、定期的（約2秒間隔）に本製品からループ検知パケットを送信します。ループ検知パケットを送信したくない場合は、ループ検知機能をOFFでご使用ください。
・ループ検知機能は、全てのループの検知を保障する機能ではありません。

■ ループを検知したとき

配線がループ状にならないようにつなぎ直してください。
※ループ検知時、ループ検知スイッチをOFFにするとブザー通知のみがOFFになります。ループ検知ランプは点滅します。

製品仕様・その他

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

■ 基本仕様

項目	仕様
対応規格	IEEE802.3ab（1000BASE-T） IEEE802.3u（100BASE-TX） IEEE802.3（10BASE-T）
フローコントロール	IEEE802.3x（全二重動作時） バックプレッシャー（半二重動作時）
ポート数	8 ポート（全ポート AUTO-MDIX 対応）
適合ケーブル（※1）（※2）	1000BASE-T: エンハンストカテゴリ 5 以上の UTP ケーブル 100BASE-TX: カテゴリ 5UTP ケーブル 10BASE-T: カテゴリ 3 以上の UTP ケーブル
コネクター形状	RJ-45 型 8 極コネクター （シールドタイプ）
電源	AC100V±10%　50/60Hz
消費電力（最大）	7.5W
消費電流（最大）	0.15A
外形寸法	W200×D100×H37mm
本体重量	500ｇ（本体のみ）
動作環境	温度：0～45℃、湿度：10～85%（無結露）
取得規格	VCCI ClassB、FCC ClassB

※1 本製品は、ケーブルの種類（ストレートケーブル/クロスケーブル）を、自動的に判別しますので、どちらのケーブルでも問題無く使用できます。
※2 自作ケーブルの使用は、ネットワークが正常につながらない原因となります。市販のケーブルをご使用ください。

■ 機能仕様

項目	仕様
伝送速度	1000Mbps (1000BASE-T) 100Mbps (100BASE-TX) 10Mbps (10BASE-T)
スイッチングデータ転送方式	ストア & フォワード
ジャンボフレーム	16,000Bytes（ワイヤーレート：9,216Bytes） ※ヘッダ 14Bytes + FCS 4Bytes 含む
伝送路符号化方式	4D-PAM5（1000BASE-T） 4B5B/MLT-3（100BASE-TX） Manchester-coding（10BASE-T）
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度（スループット）	1,488,095 パケット / 秒 (1000BASE-T) 148,810 パケット / 秒 (100BASE-TX) 14,881 パケット / 秒 (10BASE-T)
スイッチングファブリック	16Gbps
アドレステーブル	4,096（セルフラーニング）
バッファ容量	128KBytes
エージング時間	約 300 秒
伝送距離（最大）	100m
ループ検知機能（※3）	搭載
おまかせ節電機能（※4）	搭載

※3 本紙表面「ループ検知機能」を参照してください。
※4 おまかせ節電機能は、ポートのリンク状態やLANケーブルの長さを自動判断し、使用電力を調節する機能です。

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
・本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

■ ネットワークに接続できないとき

次のことを確認してください。
・本製品に電源コードが接続されているか。また、電源コードがコンセントに接続されているか。
・UTP ケーブルは正しく接続されているか。また、ケーブルは断線などしていないか。
・リンク / アクティブランプ（※5）は点灯しているか。
※5 リンク / アクティブランプが点灯しないときは、接続したハブや LAN アダプターの通信モードを手動で 100M 半二重または 10M 半二重に設定してください。

・製品の仕様、デザイン、および本書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

株式会社 バッファロー
BS-G2108UR-TP ハードウェアマニュアル　初版発行 2009/2/13